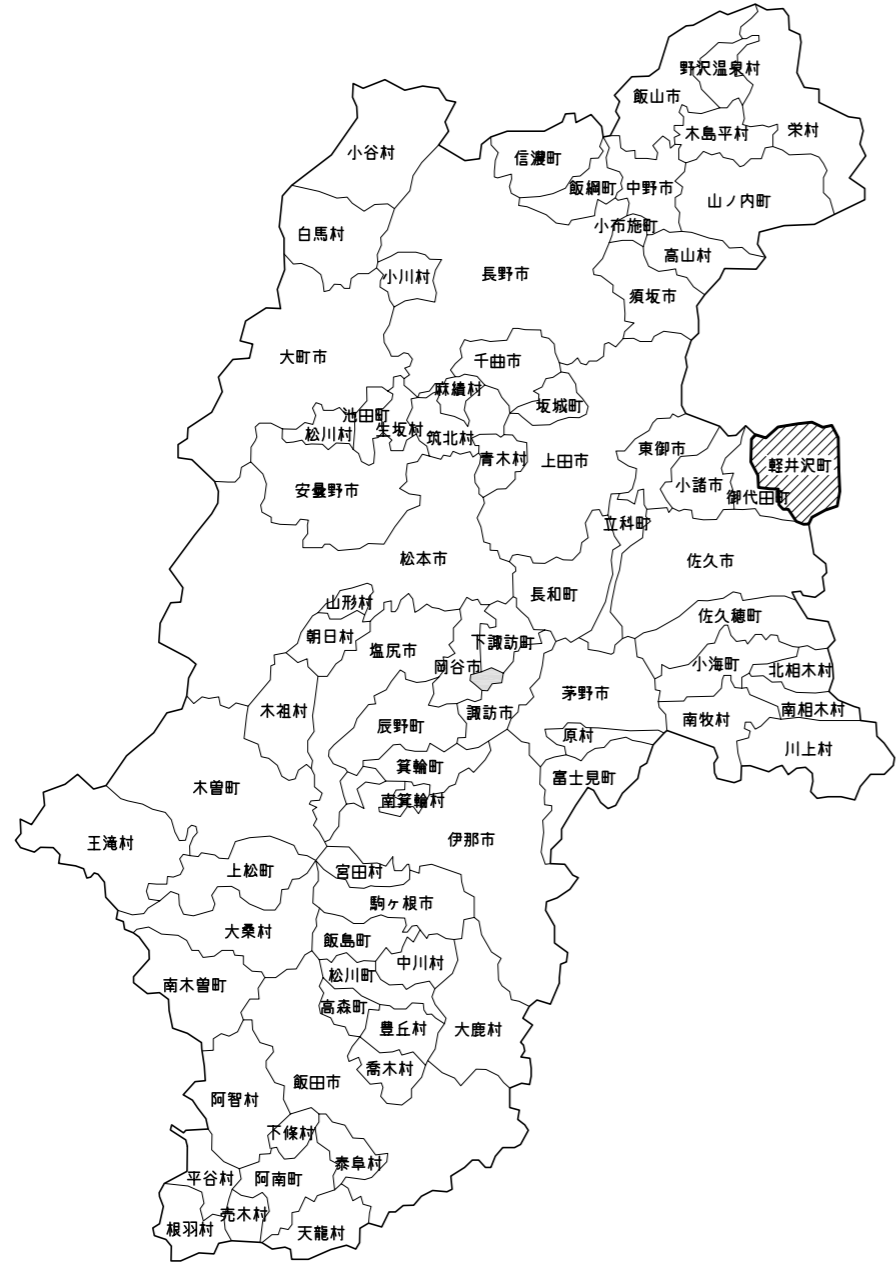
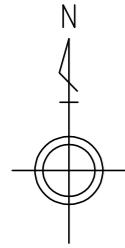
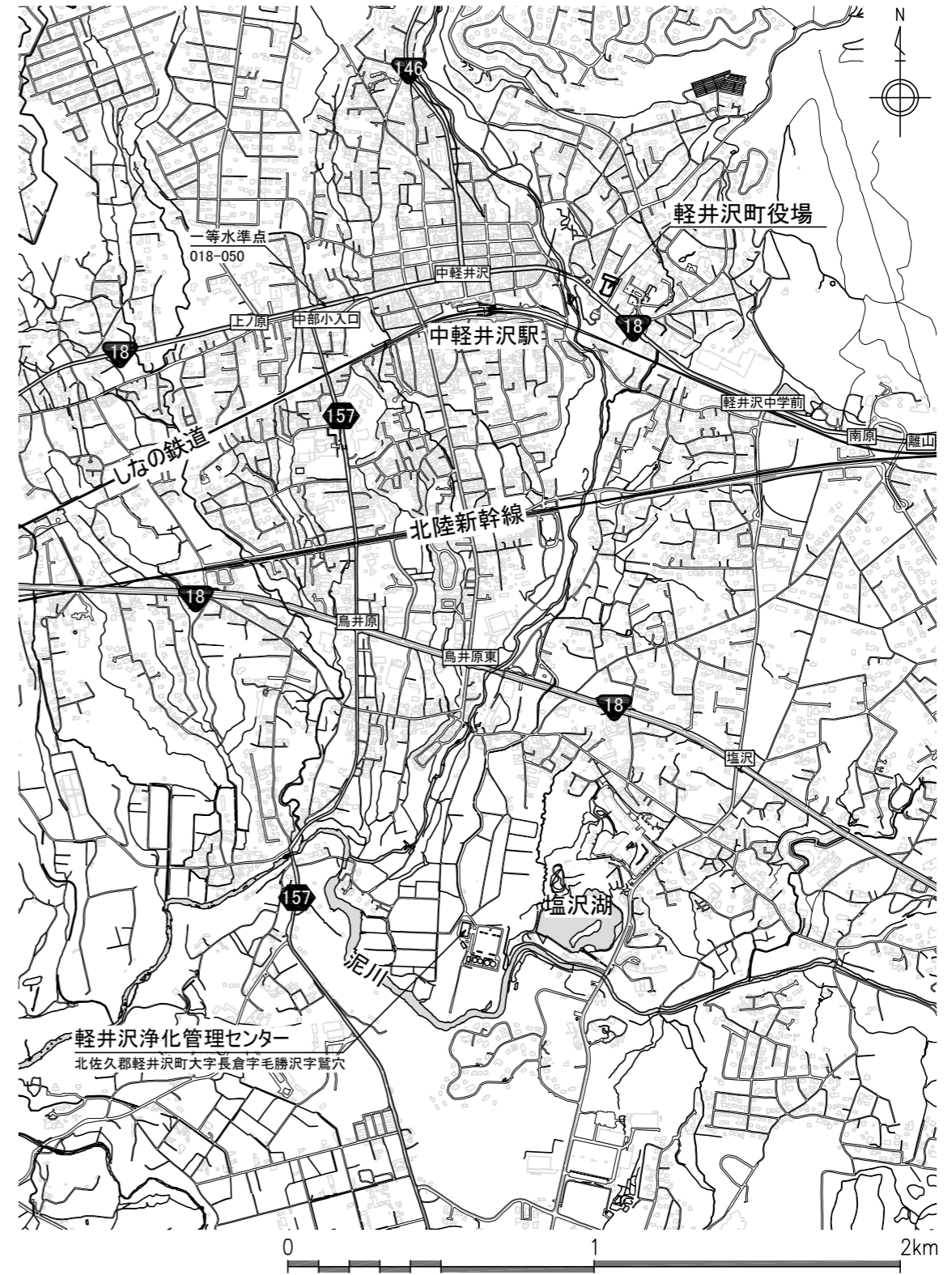


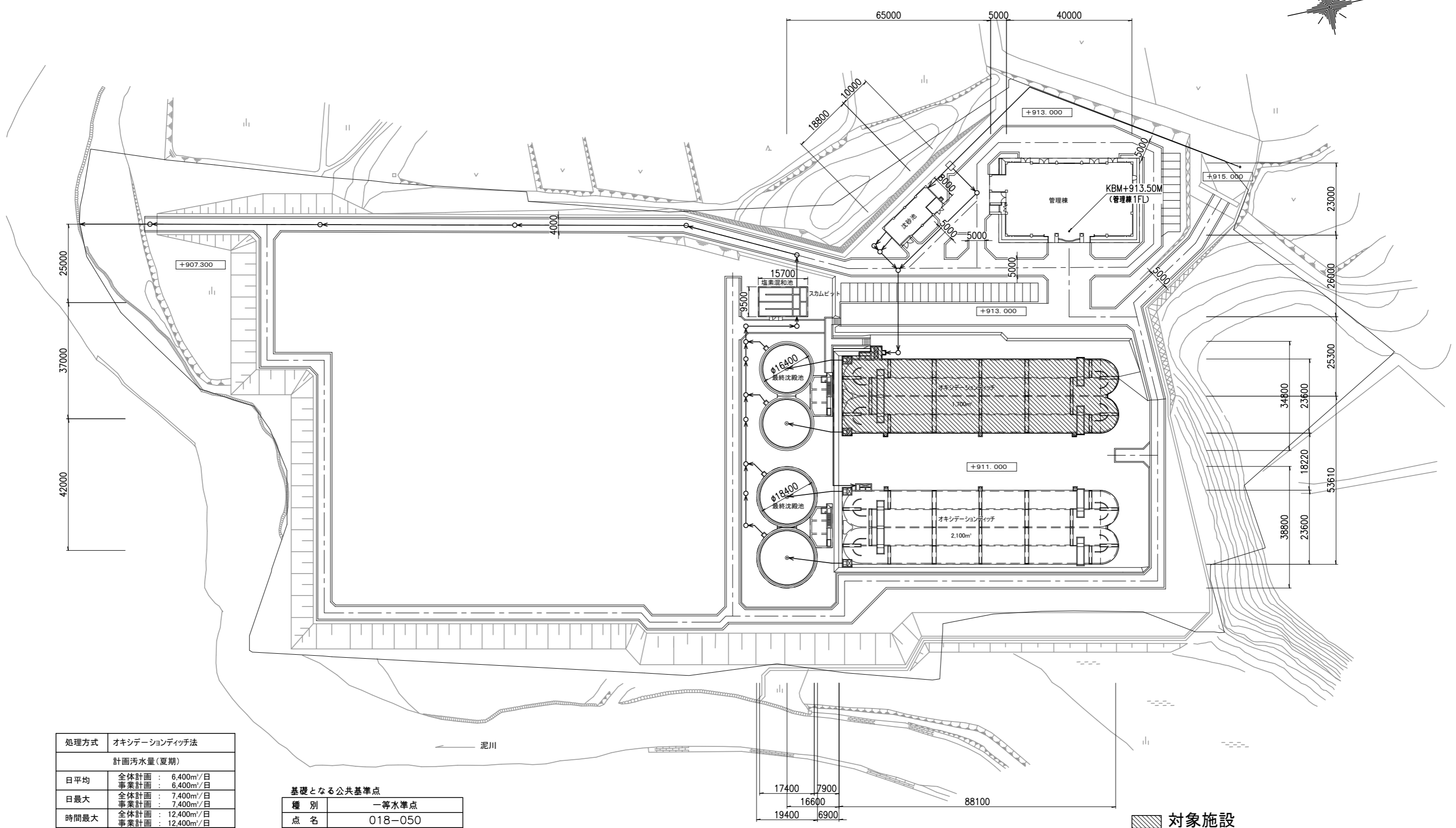
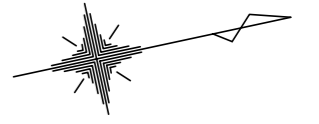
位置図



案内図



一般平面図 S=1/600

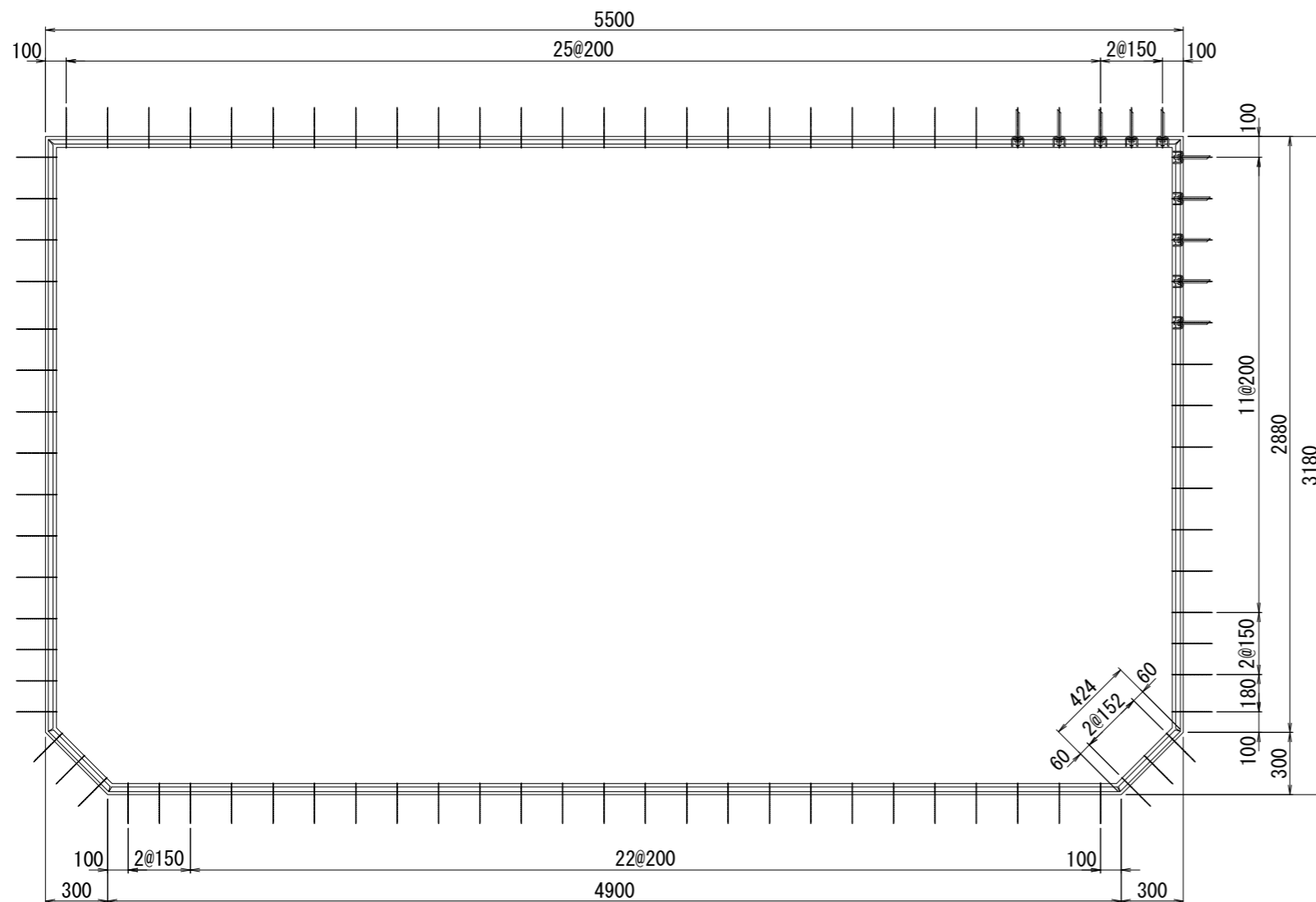


処理方式	オキシデーションディッチ法
計画汚水量(夏期)	
日平均	全体計画 : 6,400m ³ /日 事業計画 : 6,400m ³ /日
日最大	全体計画 : 7,400m ³ /日 事業計画 : 7,400m ³ /日
時間最大	全体計画 : 12,400m ³ /日 事業計画 : 12,400m ³ /日
計画汚水量(通常期)	
日平均	全体計画 : 4,200m ³ /日 事業計画 : 4,200m ³ /日
日最大	全体計画 : 5,500m ³ /日 事業計画 : 5,500m ³ /日
時間最大	全体計画 : 8,400m ³ /日 事業計画 : 8,400m ³ /日

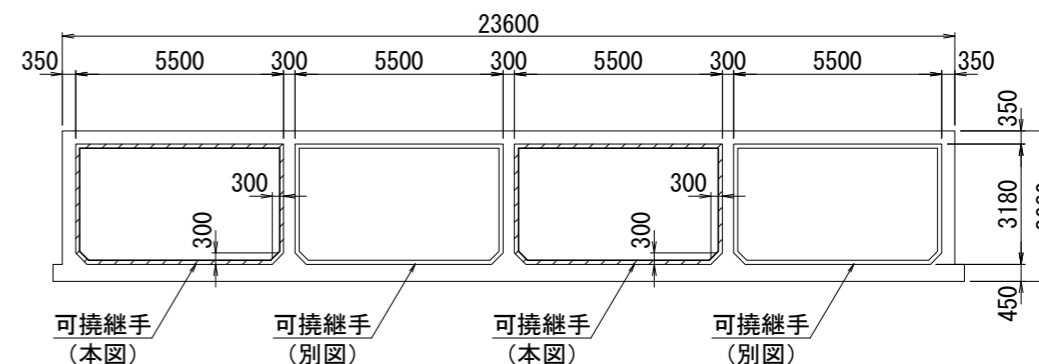
基礎となる公共基準点	
種別	一等水準点
点名	018-050
所在地	長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉 字城ノ腰3476番3地先
標高	昭和40年8月設置 平成22年8月23日観測 +948.8876M

オキシレーションディッチ(1系列)耐震可とう継手取付図(1)

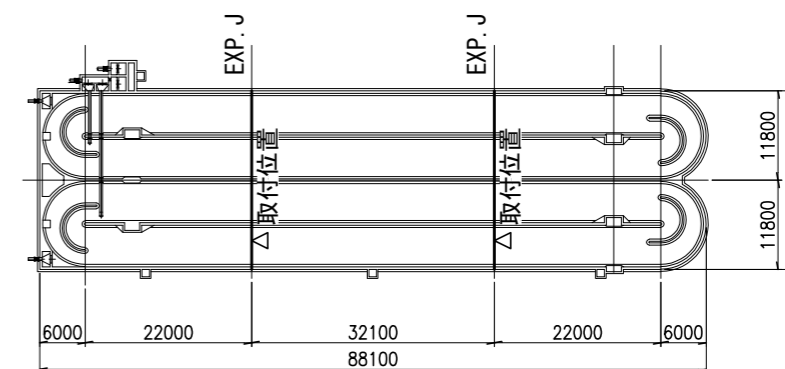
継手全体図 S=1/15



取付断面図 S=1/100



取付位置図 S=1/500



品番	品名	材質	数量		備考
			1基	2基	
1	伸縮部材	C R	1	2	RE200E-2型
2	補強布	ポリエステル	1組	2組	1PLY (平織) L=550
3	止水材	ブチルゴム	2	4	t 3×60
4	押え板	SUS304	2組	4組	t 2、50×25×10、φ3
5	押え金具	"	178	356	t 6
6	接着系アンカー	"	"	"	M16×175 (N.W.付)

使用条件	
外水圧 (W.P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
内水圧 (W.P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
沈下量 (偏心量)	200 mm
伸び量	200 mm

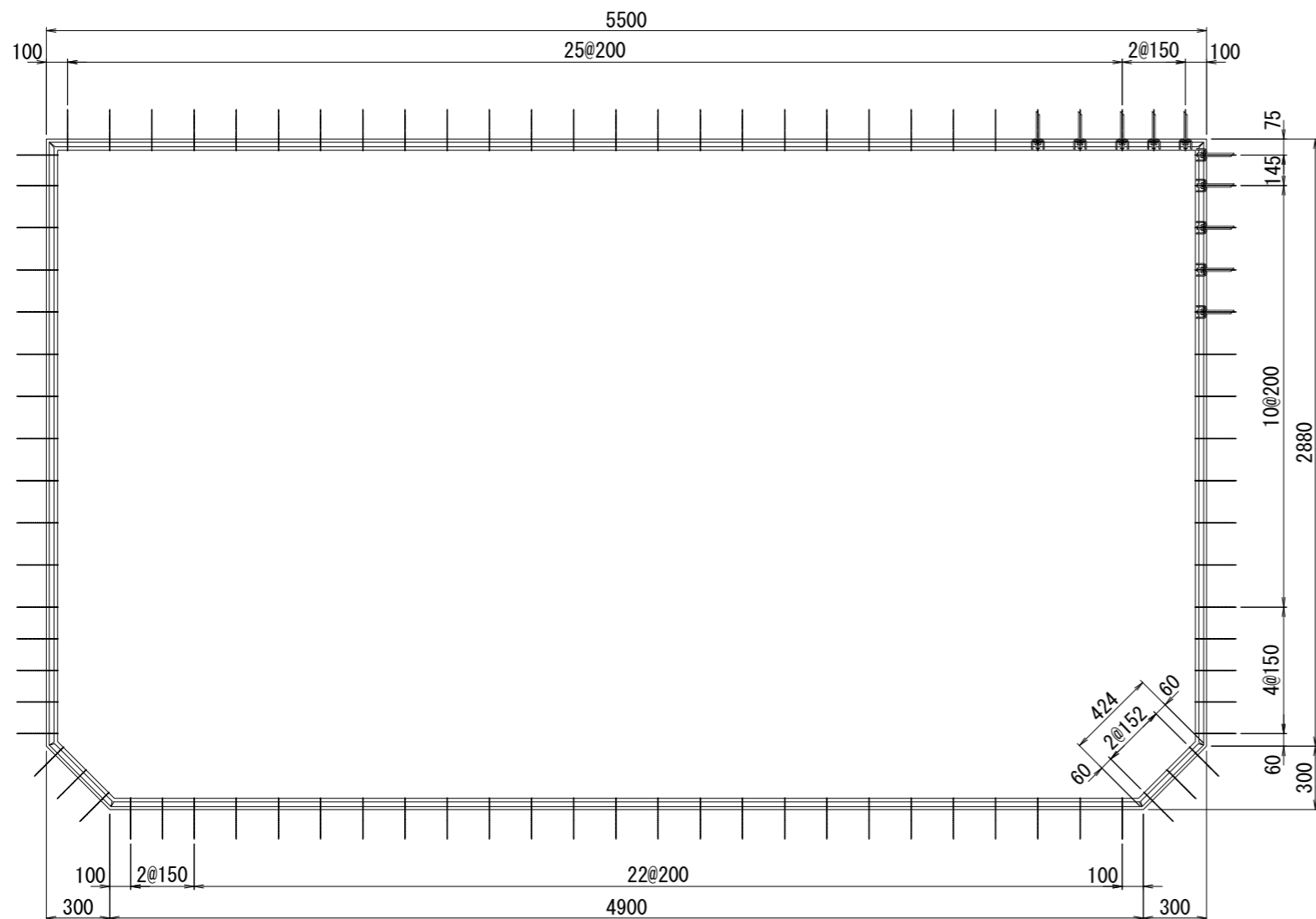
※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行ってください。

仕様

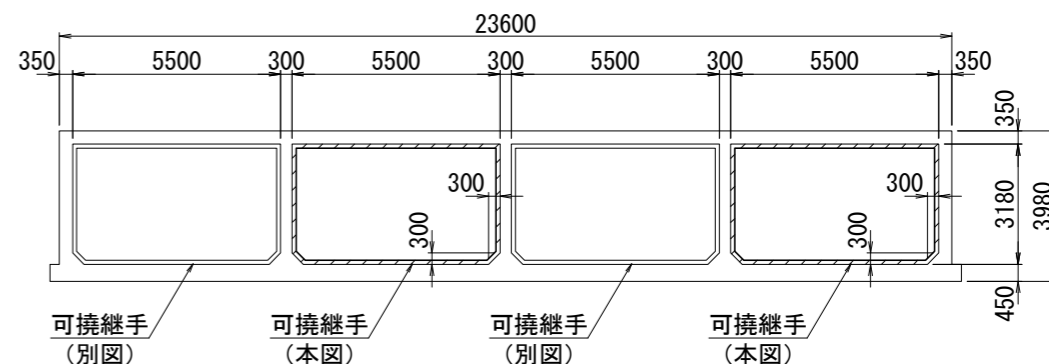
- 品番4は施工性を考慮して分割品とします。
- 品番2は製作上の都合により分割品とします。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修して下さい。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となります。

オキシレーションディッチ(1系列)耐震可とう継手取付図(2)

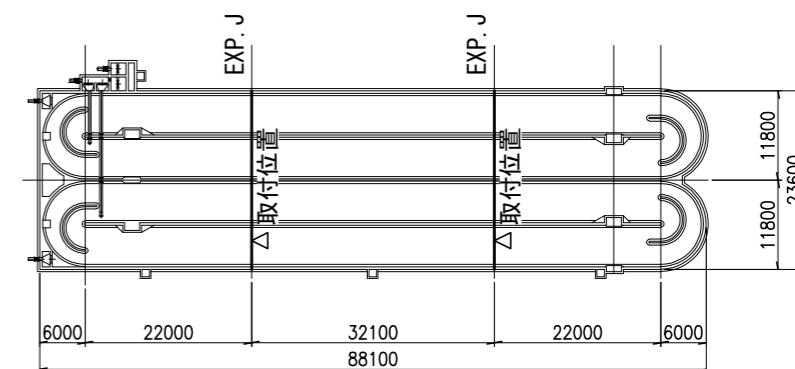
継手全体図 S=1/15



取付断面図 S=1/100



取付位置図 S=1/500



品番	品名	材質	数量		備考
			1基	2基	
1	伸縮部材	C R	1	2	RE200E-2型
2	補強布	ポリエステル	1組	2組	1PLY (平織) L=550
3	止水材	ブチルゴム	2	4	t 3×60
4	押え板	SUS304	2組	4組	t 2、50×25×10、φ3
5	押え金具	"	182	364	t 6
6	接着系アンカー	"	"	"	M16×175 (N.W.付)

使用条件	
外水圧 (W.P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
内水圧 (W.P.)	0.1MPa {1.0kgf/cm ² }
沈下量 (偏心量)	200 mm
伸び量	200 mm

※上記の使用条件を維持する為に
コンクリート面の仕上げを十分に行ってください。

仕様

- 品番4は施工性を考慮して分割品とします。
- 品番2は製作上の都合により分割品とします。
- 継手機能を維持する為、目地付近に躯体の割れ、欠損がある場合は継手取付前に目地を補修して下さい。
- 本図継手全体図の辺長及びボルトピッチは設計寸法に基づき作成している為、参考寸法となります。

オキシデーショントイッチ(1系列)耐震可とう継手詳細図

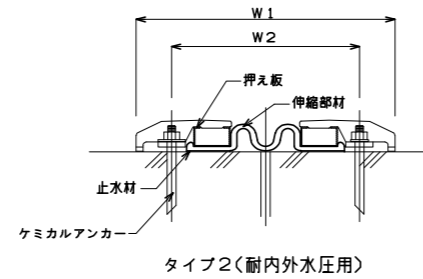
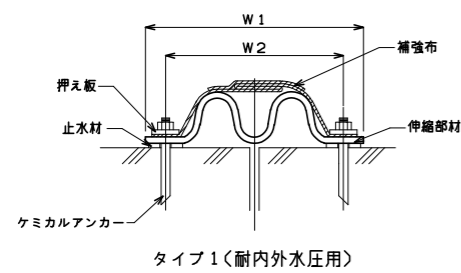
後付型伸縮可とう継手

仕様
 1) 形状寸法及び断面図詳細は、製造所の仕様による。
 2) 伸縮部材、押え板、アンカー等の材質は設置個所の腐食環境等を考慮したものとする。
 3) 伸縮部材の接着部止水面には、止水凸状もしくは、止水線を有すること。

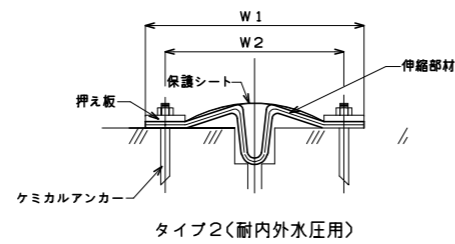
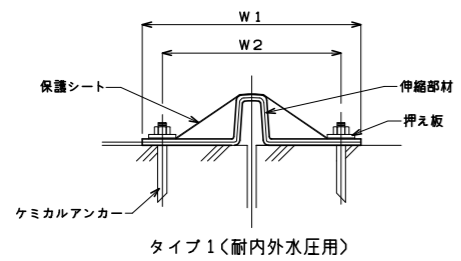
特記事項
 1) 沈下量、伸び量

設計注意事項
 1) 設計時に現場の地下水位などをよく調査し、継手に負荷される外水圧を設定すること。
 2) 本図は既設構造物の耐震補強、既設構造物と新設構造物の取合部などに適用する。
 3) 沈下量、伸び量は計算により求める。
 4) 必要となる性能を満たしている場合には本標準図に示す構造以外の製品を採用できる。

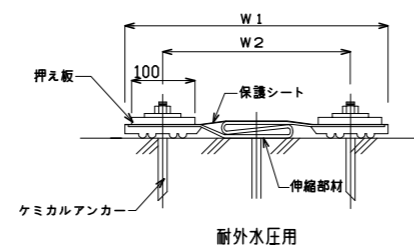
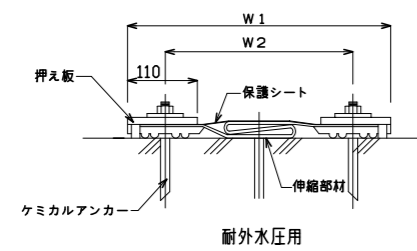
参考例1



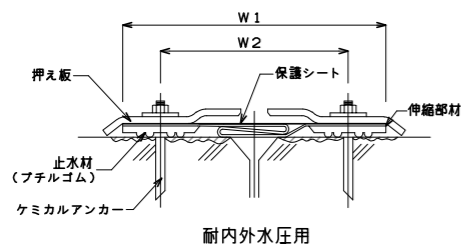
参考例2



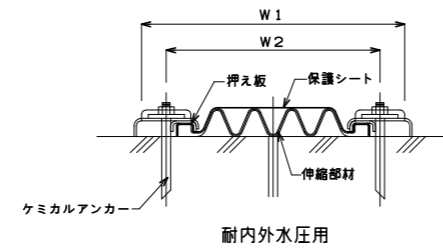
参考例3



参考例4



参考例5



参考例6

